

I. 基本情報

患者ID @PATIENTID  
 生年月日 @PATIENTBIRTH3  
 患者氏名 @PATIENTNAME  
 性別 @PATIENTSEXN  
 年齢 @PATIENTAGEFORMATTED

IPプロトコール (every 3 weeks)  
 day1...2...3...4...5...day22  
 IFM(イホマイド) 1500mg/m<sup>2</sup> ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ next  
 CDDP(シスプラチン) 20mg/m<sup>2</sup> ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ in→

<疾患名>  
 子宮癌肉腫  
  
 告知  あり  なし

<前コースの化学療法開始日> 年 月 日 \_\_\_\_\_  
 <前コースの投与量>  
 イホマイド シスプラチン  
 mg mg

II. 化学療法実施過程

\* 投与日当日のチェック事項 (記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する)

\_\_\_\_\_

薬剤名	規格	数量
1) グラニセロン点滴バッグ (持続点滴:30分間)	3mg/100mL	× 1B
2) イホマイド 生食 (持続点滴:2時間)	1g/V 500mL	× ( )V X1B
2) ウロミテキサン注 生食 (イホマイドと同時に 持続点滴:30分間)	400mg 100mL	× ( )A X1B
3) シスプラチン シスプラチン シスプラチン 生食 (持続点滴:2時間)	50mg/100mL 25mg/50mL 10mg/20mL 500mL	× ( )V × ( )V × ( )V X1B
4) ウロミテキサン注 生食 (イホマイド投与開始4時間後 持続点滴:30分間)	400mg 100mL	× ( )A X1B
5) ウロミテキサン注 生食 (イホマイド投与開始8時間後 持続点滴:30分間)	400mg 100mL	× ( )A X1B

第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目
( )	( )	( )	( )	( )

III. 化学療法剤投与量算出

<IFM・CDDP投与量>  
 前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)  
 身長( cm) 体重( Kg)  
 体表面積( m<sup>2</sup>)  
 IFM(イホマイド)投与量( mg/body)  
 = 1500mg/m<sup>2</sup> × 体表面積( m<sup>2</sup>) × ( %)  
 CDDP(シスプラチン)投与量( mg/body)  
 = 20mg/m<sup>2</sup> × 体表面積( m<sup>2</sup>) × ( %)  
 Mesna(ウロミテキサン)投与量( mg/回 )  
 = 300mg/m<sup>2</sup> × 体表面積( m<sup>2</sup>) × ( %)

<備考欄>  
 \* シスプラチン使用日には大量の補液投与を実施する  
 \* ウロミテキサンの投与量はイホマイドの20%相当量  
 \* ウロミテキサンはイホマイド投与の投与時、4時間後、8時間後の合計3回投与する

主治医

薬剤師

薬剤師

\* Dr. が二重線の枠内を記入して  
 開始前日10:30までに薬局へ提出してください。